



社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院

滅菌切迫の金属製コイルを活用し 医療界の発展に貢献する

社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院（静岡県浜松市、岡俊明院長、病床数750床）の脳神経外科は医療機器メーカーと連携し、使用期限が月内に迫る滅菌切迫の金属製コイルを集め、脳外科手術に使用する取り組みを5年ほど継続している。

医療機器を無駄にしない 取り組み

「手術に係る時間を短縮して患者さんへの負担を最小限にすること、医療機器メーカーのロスを減らし、社会に貢献すること、そして病院は滅菌切迫の医療機器を使用することでコスト削減につなげ医療界の発展に貢献すること、そんな三方よしとSDGsを実現する取り組みを継続しています」

こう話すのは、同院脳神経外科の林正孝主任医長。5年ほど前にこのスキームを確立し、今も継続して取り組んでいる。

同院脳神経外科では、脳動脈瘤が破裂したくも膜下出血になる前に治療する「脳血管内コイル塞栓術」を年間約1000件近く行っている。この手術で使用する

のが、プラチナで構成されている

金属製コイル（写真参照）だ。手足の動脈からカテーテルを挿入し、脳動脈瘤内にコイルを充填することで血流を遮断して脳動脈瘤を閉塞させている。こうしたカテーテル治療の発展を支えているのは、様々な機器（デバイス）の開発が進んだことが背景にある。優れた機器があるからこそ患者負担が少ない手術が可能となるだけでなく、手術時間の短縮や医師の働き方改革にもつながっている。

脳動脈瘤は、大きさ10mm未満が多いが25mmを超える場合もあり、医療機器メーカーも多様な径や長さのコイルを用意している。コイル1本の価格は約10万円と決して安くはなく、病院側も幅広いコイルを準備する必要があり、どうしても滅菌切迫のコイルが生じてし

複数の病院での取り組みが不可欠

まうという。

林主任医長は「医療機器を無駄に捨てることは、どのメーカーにとってもマイナスです。医療機器メーカーが投資をしなくなれば、その治療ができなくなるばかりか、技術革新も進みません。そこで、使用期限の近いコイルを複数のメーカーさんに依頼して通常より安価に納品していただいています。そのため、当院で使用するコイルの8〜9割は、滅菌切迫のコイルになっています。年間ですと500〜1000本くらいの使用量になりますので、金額的なメリットも大きくなります」と述べる。

また、複数のメーカーのコイルを使用することで、症例に応じた使い分けが可能となるほか、さまざまなコイルが使える環境は若い医療従事者のトレーニングの環境としても活用できるため、病院側のメリットは計り知れない。

その一方で、取り組み開始から5年が経過し、医療界の変化も林主任医長は痛感している。それは、機器（デバイス）のさらなる進化・発展だ。既に金属製コイルを使わずに脳動脈瘤を治療ができる新しい治療法や機器が誕生している。例えば、フロードायバーステント治療と呼ばれる治療法やWEB（ウェブ）という新しい治療デバイスが誕生しており、金属製コイルという医療機器や治療法が変わり目を迎えている。

林主任医長は、こうしたタイミングだからこそ、複数の医療機関で同様の取り組みを進めることが重要になると力を込める。

つくる責任 つかう責任

そこで課題となるのが、金属製コイルのメーカーを決める裁量権だ。医療機器の選定は、どうしても利権に関わることが多く、若い医師にその選択に伴う責任を担わせるのは難しいケースが多い。林主任医長は「ある程度責任のある

トップの理解が不可欠になります。当院の取り組みは、特定の医療機器メーカーに限定したのではなく、その枠を越えて医療界全体の発展に貢献したいという思いがあったからです。SDGsの目標12に『つくる責任 つかう責任』があります。資源には限りがありますが、持続的な生産や消費のためには何ができるかを考えることが必要です」と述べる。

そのうえで、医療界に新しい価値を生み出し、人材が集まる医療界を目指すべきだと提言する。

「病院経営が厳しいと言われるのが、医療自体が斜陽産業のように見られてしまつては若い人たちが決して集まりません。病院規模の大小を問わず、新たな価値を生み出すことはまだまだ可能です。新しいアイデアやイノベーションを起こしている現場の方々や若い医師も数多くいます。自分たちから声を大にして発信すること、そして病院経営者は柔軟な視点でそんな発想を支援する体制づくりが今必要なのではないかと思えます。



林正孝主任医長

医療界が今まで以上に発展していくために、今後も努力を重ねたいと考えています」と熱く語る。

ポイント

- 1 滅菌切迫の金属製コイルを活用しコスト削減
- 2 医療機器を無駄にせず業界の発展に貢献
- 3 優れた医療機器を使用し患者負担の軽減を図る